

もっと世界とつながる グッとくる マガジン

[特集]

GM

GLOBAL MIND

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

[グローバルマインド]

お国事情 就活

世界の就活



57
Aug. 2014
学校法人 大阪国際学園
広報誌



CONCEPT VOICE

みんなの就活、 ひとことボイス

留学生に聞く!

ココが不思議な日本の就活!?

海外インターンシップで見えた

世界で働くということ

学長対談 J-SAT 代表 **西垣 充氏**

活躍する卒業生たち

学園 HEAD LINE / 研究室探訪



Discover Yourself

世界への好奇心が、
君を、世界を、変えていく。

大阪国際大学国際教養学部が、来春4月に開設されることとなりました。本学部は、国際関係や地域への理解、また国際観光の知見と、国際社会を理解するために必要な基本的知識の修得をめざします。在学中は、全員が海外留学または研修に参加し、英語力を身につけるとともに、早い時期に海外経験することにより、自分自身の目的や適性を見つめ、発見することができます。これで、グローバルビジネス学部が続いて2つ目の国際学部の誕生となります。



国際教養学部2015年4月開設!

GM57

GLOBAL MIND

グローバル情報局

大阪国際学園から耳よりニュースをお届けします。

大阪国際大学 大阪国際大学短期大学部 新学長就任!

北川俊光学長の後任として、大学・短大の学長に、宮本郁夫副学長が4月1日から就任しました。宮本新学長は、「国際交流」「地域交流」「クラブ活動」を大学改革の3本柱とし、「人間力溢れるグローバル人材」の輩出を目指すとともに、グローバル企業の在職経験も活かし、アジア戦略にも意欲を燃やしています。7ページの学長対談では、アジアを舞台に活躍する卒業生と熱い思いを語り合っています。



大阪国際大学
大阪国際大学短期大学部 学長

宮本 郁夫

香川大学経済学部卒業。松下電器産業(現パナソニック)入社。パナソニック・アジア大洋州本部長、パナソニック常務役員などを歴任。2012年10月大阪国際大学副学長を経て、2014年4月大阪国際大学・同短期大学部学長に就任。任期は2014年4月1日から4年間。

「グローバルマインド」を リニューアルしました。



1993年に創刊された「GLOBAL MIND」は、「帝国学園」の時代から続く女子大・短大の「学報」と大阪国際大学の「OIU WAY」を統合し、学園設置諸学校の広報紙として、学生、生徒、教職員をはじめ卒業生や就職先企業、西日本の高校などにも配布され、今日に至っております。創刊から22年を迎え、スタイルをタブロイド紙からオールカラーの冊子に変え、身近な話題をグローバルな切り口で、国も世代も立場も越えて共有するための「きっかけマガジン」をコンセプトに、リニューアルしました。今回の特集テーマは「就活、お国事情」。たくさんの協定校、企業、卒業生みなさまにご協力いただき、誌面ができました。これからも、「大阪国際」ならではの切り口で、みなさまの声を活かしたオンラインの学報を目指していきます!

よろしく願っています。





日本人の就活
留学生には
実はこんな風に見られていた?!



[特集]

就活、

お国事情

おそろいの黒いリクルートスーツを着て企業訪問し、エントリーシートや履歴書の書き方に研究を重ね、いっしょうけんめい面接練習をする…よく見かける日本の「就活」風景です。けれど、ちょっと待って。日本では当然だと思われる就活って、海外でもそうなのでしょうか?そもそも世界に就活ってあるのでしょうか?今回の特集では、グローバルな視点から就活を取り上げ、世界各国の習慣やスタイルをご紹介します。海外で就職する「セカ就」にもフォーカス、その魅力をお伝えします。当たり前だと思っていたことが、視点を変えれば全然違う…そんな驚きをお楽しみください。



大阪国際大学の学生、起業した卒業生、そして海外協定校や企業まで…さまざまなお声から「就活」について、ひとこと語っていただきました。

みんなの就活、 ひとことボイス



いま話題の
「セカ就」
って知ってる?



世界で働く楽しさを
海外インターンシップ
で知った!



日本のグローバル企業より

サトレストラシシステムズ株式会社

人事部採用担当マネジャー
竹内 哲也さん

海外でも日本でも、採用基準は同じ。重点を置いているのは「**主体性、課題発見力、発信力**」です。就活で大切なのは、先入観を持たないこと。こだわりは必要ですが、自ら道を狭くしては損だと思えます。



株式会社サカイ引越センター

本社人事部 古川 龍さん
現在、日本国内で採用担当をしています。海外事業展開(ヨーロッパ地域)での人事交流も始まりつつあります。海外でも日本でも重視するのは「コミュニケーション能力」と「向上心」。就活生へ伝えたいのは「**就社**」ではなく「**就職**」であってほしい…ということでしょうか。



株式会社チュチュアンナ

人財開発部ゼネラルマネジャー 中沢 守さん
中国と台湾での採用を予定していますが、海外でも日本でも重視するのは「**リーダーシップ**」「**創造性**」「**コミュニケーション能力**」。イノベーションを起こせる人を求めています。

株式会社アイエスエフネット 採用推進本部 真山 里美さん



海外で働く人材も、日本で働く人材も、採用ポイントは「**人間性**」。コンプライアンス遵守はもちろん、人としてのモラルが備わっているかを見ます。外国人留学生の面接もしますが、彼らは入社後の目的意識をしっかりと持っていますね。多くが**トリリンガル**なのにも驚きます。

就活学生より

就活とは「**成長できる場**」だと思います。初めての説明会では自分から質問ができませんでしたが、回数を重ねるうちに積極的に発言するようになり、同時に様々な会社の理念や考え方にふれて世界が広がりました。

現代社会学部 法律政策学科4年次生
松田 佑也さん(株式会社サニーマート内定)



面接では質問に対して2分以内で話すよう心がけ、ストップウォッチで何度も練習しました。長々と話すと要点を伝えきれないからです。就活は「**自分を見つめ直す機会**」だと言われますが、私には「**自分を律する機会**」でもありました。説明会、書類の締切、選考日程…目標を立てて物事に取り組むことは、社会人にとっても必要なだと改めて感じた期間でした。

人間科学部 人間健康科学科4年次生
岩崎 皓子さん(株式会社ナリコマエインタープライズ内定)

落ちても「**自分はダメな奴だ**」とネガティブにならないのが大事。もちろん原因は分析して、同じ失敗を重ねないことが前提ですが。就活とは「**自分という商品を企業へ売り込みに行く場**」。買っていただくことで企業にどのような利益を生み出せるのかを、明確に伝えること。私は営業志望なので練習だと思って就活をしました。

人間科学部 心理コミュニケーション学科4年次生
富田 圭さん(株式会社スズキ自販関西内定)



みんなの就活、 ひとつことボイス



大阪国際大学の学生、起業した卒業生、そして海外協定校や企業まで…
さまざまなスタンスから「就活」について、ひとつこと語っていただきました。

海外起業家より

J-SAT Consulting Co.,Ltd 最高責任者 西垣 充さん(本学卒業生)



ミャンマー・ヤンゴンで旅行・コンサルティング会社を運営しています。スタッフ採用のポイントは「面接時の姿勢や態度、声の大きさ」「質問に対して短く簡潔に答えられるか」そして「**将来のイメージが描けているか**」ということ。語学力も重視します。ミャンマー人と日本人の違いは、ハングリー精神でしょうね。こちらの人は仕事に対する真実度や、何でも学んでやろうという意欲を感じます。



スペクトラム ビジョンズ グローバル株式会社 CEO 久保 由美さん(本学卒業生)



2008年、アメリカ・カリフォルニアにテクノロジーを使った社会貢献企業を設立しました。採用にあたって重視するのは「**自己学習能力**」と「**問題解決力**」。仕事は創造していくものなので、言われたことしか行わない人はダメ。できない理由を挙げるのではなく、できる手段を考えて提示できる人を求めています。日本人は真面目でよく働きますが、枠の中で思考をする傾向が強かったり、皆と同じで安心という価値観が気になります。日本のリクルートスーツをカリフォルニアの雇用者が見たら驚くかもしれませんね。



海外の協定校より

インドネシア・
アルアズハルインドネシア大学

就活の服装は決まったスタイルはなく、男性も女性も**衿のついたシャツならOK**。パティックというインドネシア伝統の衣裳を着る人もいます。ただしスニーカーやサンダルはダメですが。

タイ・ナレースワン大学

就職サポートに特化したセンターはありません。しかし希望する学生には「求人情報の提供」や「履歴書などの書き方講座」を行っています。学生たちは**企業訪問をする際、学生服を着用**します。

タイ・スィーパトゥム大学

タイの大学では卒業前にインターンシップがあります。当大学は企業と連携して、学生に合った体験ができるようマッチングを行います。求人情報を提供したり、セミナーや研修を企画したり、就職サポートは充実しているほうでしょうね。就活の服装は基本スーツ。学部によっては制服のように独自のスタイルが決まっており、公の場ではそれを着ます。



トルコ・エルジェス大学

トルコでは基本的に卒業後、**個人で就職先を見つけて**ます。なので大学にはキャリアセンターがありません。ただし「日本語日本文学科」だけは、教師が日本語を使える仕事や会社の案内を行っています。



ベトナム・ハノイ貿易大学

大学の青年団体が設ける「人材クラブ」がキャリアセンターの役割をします。とはいえ求人情報の提供をするくらいで、**学生は独自で就活をします**。服装については「会社説明会」ではシャツやブラウス、面接ではスーツが多いようです。

会社説明会のスタイル



韓国・東洲大学校

韓国の大学には日本と同じく「就業支援センター」があり、就業キャンパスや海外インターンシップ、履歴書作成指導などを行います。服装は黒やネイビーのスーツ。ただしマスコミ業界志望の学生は個性を打ち出して自己アピールしているようすが。



中国・上海師範大学天華学院

上海では日本のように4年次前期より就活がスタート。当大学にも「就職サポートセンター」があります。服装はフォーマルであればOKですが、**日系企業を希望する学生はリクルートスーツを着ます**。



インドネシア・ウダヤナ大学

就活中のスタイルは白いシャツに黒いスラックス、またはスカートが一般的ですね。



台湾・中華科技大学

「会社があなたに何をしてくれるかではなく、**あなたが会社に何ができるかを考えなさい**」と指導しています。



中国・同済大学

中国では卒業後の4月に一斉入社することはありません。しかし在学中から就活を始める学生もいるので、求人情報を提供したり、履歴書の書き方や面接や試験対策、資格取得のアドバイスを教える「大学生就職指導センター」があります。就活中のスタイルは**“清潔であれば良い”**という感じでしょうか。

中国・遼寧師範大学

就職をサポートするのは「大学生就職活動中心」というセンター。求人情報の提供、就職活動コンサルティング、面接や試験対策、資格取得のアドバイスをを行います。就活する学生は黒、紺、グレーのスーツが多いですね。白いシャツ姿もよく見ます。

メキシコ・モンテレー工科大学

学生は最後の学期中に、面接や就職説明会の練習ができる様々なイベントに参加できます。**就活生の服装に決まりはありません**が、基本的には正装で、アメリカと似ていると思います。



台湾・長榮大学

就職先は自分で探するのが台湾の常識。卒業後に就活を始める学生も多く、大学のサポートもさほど熱心ではありません。最近面接の時にスーツを着る学生も増えてきましたが、色は自由ですね。

ベルギー・リージュ州大学

2600社の企業が当大学に登録しており、求人情報を提供してくれます。3月と11月に**「就活のための活動日」**が数日あり、学生は企業と面談しますが、まだ卒業していないため何も決定はしません。



台湾・康寧大学

様々な就職サポートを行う「就業輔導組」があります。履歴書の書き方、面接における好印象の与え方、採用後の働き方…までしっかり指導。服装については一律でなく、例えばアパレル業界なら個性を演出するなど、就職先のイメージに合わせることを勧めています。

シンガポール・ナンヤンポリテクニク

ビジネスマネジメント学部には「キャリアリンク」という部署があり、学生の就職活動のサポートを行っています。もちろん面接訓練もしています。

中国・四川大学

「入学&雇用サービス」という部署があり、学生の就活を後押しします。4年次がスタートしてすぐ就活が始まること、リクルートスーツを着用することなど、**日本と似ていますね**。

インドネシア・
ディアン・ヌスワントロ大学

就職サポートのオフィスは「キャリアセンター」と呼ばれています。学生は女性ならスカートとブラウス、男性ならシャツとスラックスなど、きちんとした格好で活動します。

留学生
に聞く!

ココが不思議な 日本の就活!



世界には「就活」ってあるのでしょうか?日本とは違うのでしょうか?
大阪国際大学の留学生に、自国との違いを聞いてみました!



大阪国際大学
国際コミュニケーション学部4年次生留学生
リュウスイリさん(香港)

日本の就活は驚きの連続!まず「何?これ?」と思ったのが服装です。香港にリクルートスーツはありません。私は自国で一度就職していますが、ブラウスにスカートというラフなスタイルで面接を受けました。さらに企業説明会もエントリーシートも、日本で初体験。形やルールにこだわるのは、いかにも日本らしいですね。でも、みんな「こうじゃなくちゃ」って思いすぎているのかも。私は日本の企業に内定をいただきましたが、面接では他の人と違うストライブのパンツスーツでしたから。

どうして
形やルールに
こだわるの?



どうして
新卒じゃないと
ダメなの?

大阪国際大学
国際コミュニケーション学部4年次生留学生
Camila Guadalupe CORTEAさん(アルゼンチン)

語学力を生かして観光業界で活躍すべく、通訳案内士の資格取得と就活を頑張る毎日です。とても不思議に思うのは日本では「新卒」の価値が高いこと。アルゼンチンでは大学を卒業したら、1年間ワーキングホリディや旅行に行き、見聞を広げる人もたくさんいます。人生経験も仕事のスキルもない新卒のステイタスって何なのでしょう?大人数で同じ格好で同じテストを受ける…というのも驚き。でも郷に降りては郷に従え(笑)。リクルートスーツは気持ちを切り替えるのにいいかも。私も日本で活動するからには着ますよ。

があることを知ってほしい。

僕が「海外」というのは、主に東南アジアのこと。日本は人口が減少傾向で経済が閉塞へ向かっていますが、東南アジアの成長は目を見張る勢いがあります。人々の所得も増えている。顧客がこれから増えていくのはどこ?と考えた時、アジアの国々に目を向けるのは自然な流れでしょうね。例えば今、アジアの中心は日本ではなく

「セカ就」…つまり海外就職の情報を発信しはじめたのは、自身の経験から「こんな選択肢があることを、日本の若者に知ってほしい」と思ったから。日本の就職状況は今、決して良くありません。必死に就活をして入社したのに、ブラック企業で精神をすり減らしている人も多い。それなら海外へ目を向けてみれば、面白い仕事に就ける可能性があることを伝えられたのです。

海外就職研究家
森山 たつを氏



海外就職って実はとても身近なこと。

単なる旅行では経験できないことをしたいと、インターシッパへ。語学に自信はなかったけれど、「生懸命コミュニケーションすれば通じることを実感。現地スタッフからも「海外で就職しよう」と言われるまでに…。たった8日間でしたが、「海外で働くこと」がぐっと身近になりました。「行きたい」という気持ちがあれば、海外就職ってもっと簡単に考えていいんじゃないですか？

「研修先：シンガポール」
大阪国際大学 ビジネス学部
経済ファイナンス学科 4年次生
山下 愛未さん



海外インターンシップで見えた 世界で働くということ

<OIUの海外インターンシップ>

海外ビジネスの最前線に触れる貴重な体験を味わえる、OIUならではの海外インターンシップ。「バリ島の一流ホテルでホスピタリティを学ぶ3週間」や「国際都市シンガポールで様々なビジネスを経験する8日間」など、多彩なプログラムがあります。

就職に対する考え方が変わった!

【研修先：インドネシア】

大阪国際大学 国際コミュニケーション学部 4年次生 上杉 香菜美さん

就活を本格的に始める前にインターンシップを体験したい。同時に海外に対するあこがれもあり、今回の参加を決めました。現地のホテルで働いたのは3週間ほどですが、私の人生がガラリと変わったかも。なぜなら、広い世界で働く魅力を知り、将来のステイジを日本に限定して考えなくなったから。両親も「行って良かったね」と喜んでいますが、向こうのスタッフがみんな優しくフレンドリーで、「もっと語学を磨きたい」と逆に燃えています。



セカ就!
世界で就職するという選択肢
森山 たつを 著

働く舞台は日本だけじゃない!
5人の男女が海外でチャンスをつかむ、実話をもとにした「就活ノベル」。

「セカ就」という選択

プロフィール (もりやま:たつを)
海外就職研究者。大学卒業後、日本オラクルと日産自動車を経て1年間にわたる世界旅行へ。帰国後、アジア7か国での就活を行い、ほぼ全てに内定を得るも、啓発活動のために「海外就職研究者」の道へ。海外就職に関する執筆、講演および交流コミュニティの運営に携わる。2013年に出版した著書「セカ就!世界で就職するという選択肢」で話題に。また、アジアでのカレー屋さん起業を体験するプログラム「サムライカレープロジェクト」を企画して、観光庁から表彰された。

もりぞお海外研究所 <http://morizo.asia>
サムライカレープロジェクト <http://samuraicurry.com>

シンガポール。欧米企業のアジア本社はほとんどこの国にありません。タイも、インドも、カンボジアも、勢いがあつて活気に溢れている。町を歩いているだけでもウキウキしますよ。

海外で働くにあたって必要なのは基本的な語学力。とはいえ流暢な英語は必要ありません。それよりも違う文化に溶け込めるコミュニケーション力があれば大丈夫。まずは旅行でもインターンシップでもいい、アジアの雰囲気を感じてみませんか。行けばきっと何かが変わるはず。未来を切り拓くのは、一歩を踏み出す勇気だと思います。



大阪国際大学
大阪国際大学短期大学部 学長

宮本 郁夫

ミャンマーで起業したのは
この国の活気にふれて
可能性を感じたからでした。
グローバルな人材育成は
まず「体験」させること
だと思っています。

J-SAT 代表 (JAPAN SAT CONSULTING CO.,LTD.)

西垣 充氏

プロフィール (にしがき みつる)

1995年、大阪国際大学経営情報学部卒業。大手経営コンサルティング会社から日系企業のヤンゴン支店に転職し、1998年に現地で独立。日系企業の進出支援をはじめ、現地で多彩な事業を展開している。

宮本 西垣さんは当大学の三期生だとか。大先輩ですね。
西垣 はい、1990年の入学です。卒業後、日本の企業に就職したものの、学生の頃に旅したミャンマーに大きな可能性を感じて1998年に現地で起業しました。
宮本 ミャンマーは民主化と経済改革が急激に進み、今やアジアでも勢いのある国ですね。西垣さんの先見の明に驚きます。現在は何んな事業をされているのですか？
西垣 旅行代理店からスタート

して、日本企業のミャンマー進出をサポートするコンサル業務や人材派遣、更には日本語学校も運営しています。
宮本 派遣業などは、許可申請が大変でしょう？早くから現地で人脈を築くことで有利になりましたね。
西垣 ええ。大手企業も進出を考えているようですが許可が取れず、今のところ当社の独占状態です。
宮本 ミャンマーは急激に人口も増えていますね。ビジネスの成長は人口に比例しますから、この国のポテンシャルは高いと思います。西垣さんの会社はきつと、どんどん大きくなっていきますよ。
西垣 これまでは何度も「もうダメだ」と思いましたが…。やつと土台が固まった気がしています。
宮本 先行して苦労した分、今後は報われるでしょう。西垣さんがここまでミャンマーで頑張ることのできたモチベーションは何でしょうか？
西垣 お金を追いかけた事業は残りませんね。この国を変えたい、この国のために何ができるだろう…。そんな使命感でしょうか。人間は必要とされることで力が湧くんです。
宮本 哲学を持っておられるから強いんですね。
西垣 最近、始めたのが視覚障害者のマッサージ店。ミャンマーには30〜40万人の視覚障害者がいますが

政府の支援はほとんどありませんでした。彼らの独立支援をサポートするマッサージチェーンを立ち上げました。それで副大統領からも表彰されたんです。外国人で政府に公式表彰されたのは初めてだと思います。
宮本 素晴らしい。その開拓精神を後輩である学生たちも見習ってほしいものです。どうすれば西垣さんのようなタフさを身につけることができるのでしょうか？
西垣 まずは海外を経験させることが大事でしょうね。私自身も大学時代に外国を旅行したことで、随分と人生観が変わりましたから。
宮本 同感です。そのために大阪国際大学では、アジア地域への海外インターンシップに力を入れていこうと思っています。海外での就業体験を通して、学生たちが得るものは多いようです。
西垣 そうでしょうね。アジアの活気に触れて、ビジネスチャンスだと感じる人もいるでしょう。逆に語学力の不足を実感することで学びへのモチベーションが高まったりね。
宮本 まさに狙いはそこにあります。今後はミャンマーの語学大学とも協定を結ぶ予定もあるのですが、実現した暁には西垣さんの会社で就業体験をさせていただきますか？
西垣 もちろん、最優先で受け入れますよ(笑)。



活躍する 卒業生たち

卒業後に一度は日本で就職。
けれど夢をあきらめなかった。

私の主な仕事はご来院いただく日本人患者様への日本語サービスの提供。受付での応対から始まり、医師や看護師と患者様の医療通訳、海外旅行傷害保険の手続きなども行います。カンボジアに來られた旅行者の方が、言葉の壁を取り払って安心して治療を受けていただく環境をご提供しています。通訳業務だけでなく、医院のマーケティングにも関わり、現地の日本語マガジンへの広告掲載なども担当しています。

大学を卒業後、一度は日本の企業で働きましたが、在学中に芽生えたカンボジアへの夢が捨てきれず



カンボジアで医療通訳に従事
カスタマーリレーション/マーケティングオフィサー
ロイヤルアンコール国際病院
あおと まゆ
青砥 茉由さん
(人間科学部国際コミュニケーション学科2007年卒)

人生は一度きり。 「経験」という自己投資は 惜しみたくありません。

1年後に退職。最初はNGOのボランティアスタッフとして約1年4カ月、ホテル業務を約2年、そして現在の病院で医療通訳という仕事に就きました。

現地ではたらくことの幸せは
日本ではできない「体験」。

人生のターニングポイントは、大学3年次に参加した「カンボジアボランティア研修」でした。この研修がなければカンボジアに興味を持つことなく、英語圏の先進国で働くことしか考えなかったでしょう。初めて、この国を訪れた時の言葉にならないカルチャーショックは忘れません。日本との違いに驚き、なぜこのような国なのか、どんな社会事情や問題があるのか…沸々とかき立てられる思いが、私をこの国に引き留める理由です。

インフラ整備も不完全な環境は不便ですが、それ以上に得るものが多い毎日。日本では知り得ない現地のリアルな生活や習慣、行事、社会問題などを実際に見聞きできることは、何にも代え難い経験です。後にも先にも人生は度きりなので、何かを経験することは、自分自身の最大の財産となって返ってくると思います。何もしなかったことへの後悔よりも、したことへの後悔の方が、自分にとって有意義だと思うのです。



左から3人が青砥さん

当大学の人気メニューは「ナシ・ラムス」。ご飯と好きなおかず(例:野菜いため、スープ、卵など…)を選んで、その内容によって値段が決まります。また「ソト・アヤム」はインドネシア版ねごまんまで、スープの中にご飯が入っています。基本的にはどれも辛い!そして飲み物は甘い!日本料理のメニューもあり、「カツ」「天ぷら」「焼肉」の定食。値段は150~200円です。



世界の せかいのがくしょく ① 学食

インドネシア
ディア・ヌスワントロ
大学



大学

ガンバ大阪とパートナーシップ協定締結

サッカーJリーグのガンバ大阪と大阪国際大学が、6月1日、パートナーシップ協定を締結しました。東南アジア諸国での活動を強化していく「Look South 戦略」を打ち出す本学と、同じくアジア戦略を打ち出すガンバ大阪が戦略パートナーとなることで、教育・研究・育成・地域・社会貢献、東南アジア地域の分野で相互に協力し、地域の発展と人材育成に寄与する事を目指します。調印式は10日、ガンバ大阪万博練習場の人工芝グラウンドで行われ、ガンバ大阪の野呂輝久社長、選手たちと学園から奥田吾朗理事長、宮本郁夫学長らが記念撮影におさまり、今後のさらなる飛躍を誓いました。



ハーバード大学と第2回学生交流会を開催

7月1日、ハーバード大学のアカベラグループ「ディン&トニクス」が守口キャンパスを訪れ、本学国際コミュニケーション学部英語インテンシブコースの学生らと交流しました。オリーブの苗木を記念植樹した後、文化交流での活発な意見交換、ミニコンサートやランチミーティングで有意義なひとときを過ごしました。



全日本女子バレー 火の鳥NIPPONに卒業生3人選出

全日本女子バレーチームの2014年登録選手に、卒業生の山口 舞選手(左:滝井高校'02年卒、岡山シーガルズ所属)、宮下 遼選手(中央:大和田中学卒、滝井高校'13年卒、同所属)、宮本 小百合選手(右:滝井高校'04年卒、パナソニックESブルーベローズ所属)の3選手が選ばれました。山口選手は、ロンドン五輪のメダリストであり、宮下選手は、19歳の司令塔全日本セッターとして活躍し、2020年東京五輪に向けた「集中強化対象選手」にも選ばれました。宮本選手は初の全日本メンバー入りで史上2人目の9人制バレーからの抜擢となります。今後の活躍を期待します。応援よろしくお願いたします。



「国際教養学部」開設記念、第26回国際シンポジウム「関西と世界を結び、感動を創る国際人へ—2020年関西の国際観光—」

第26回国際シンポジウムが、6月28日に奥田メモリアルホールで開催されました。(株)ザ・パーク・グレイス・ホテルズ 代表取締役社長 窪山哲雄氏を招き、国際観光の知見を深め、国際社会を理解して、その第一線へ羽ばたいていく人材になるためには、どのような資質が求められるのかについて、活発に議論されました。



第10回学生チャレンジ制度 採択企画決定

学生の優秀なアイデアや企画に最大50万円までの奨励金をつけて支援する「学生チャレンジ制度」の採択企画が下記のように決定しました。昨年度の採択企画の様子は、公式サイトに公開されています。学生たちの奮闘ぶりをぜひご覧ください。大学公式サイト>サポート体制>チャレンジサポート

採択企画テーマ
親指ムービー 「Swing Thumbs」
From a smile in a dreamプロジェクト 「HOME」～自分の言葉を思いにして笑顔の連鎖～
地域間交流における地域活性化 ～三つの愛で三代交流～
Dream It. Plan It. Do It. ～シンポジウムの体験から真の国際人になる挑戦をOIU生みんなです！～

同窓会特別賞
デリバリー“カフェ”で ホスピタリティ・マインド溢れる大学へ！
茶の香でむすぶOIU海外協定校
地域連携室賞
「室戸台風 80年」展の開催



国際コミュニケーション学部2年次生 (インドネシア)
ハリマ ムラディさん
①美容製品②母国で日本語の学校を作りたい。日本でハラルのインドネシア料理の店も作りたい③音楽、テレビ鑑賞④英語で外国人とコミュニケーションがとれることは人生をさらに意味あるものにする



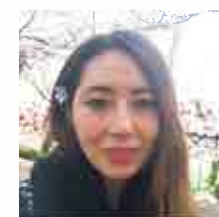
グローバルビジネス学部1年次生 (サウジアラビア)
ALARAWI HATIM FAYEZ M (アララウィ ハティム ファイズ)さん
①日本の文化(マナーが良いわびさび)②世界平和に貢献したい③サッカー④フレンドリーで友達を作ることができます。よろしく



グローバルビジネス学部1年次生 (ベトナム)
NGUYEN HOANG ANH (グエン ホアン アン)さん
①経済やネットショッピング、機械(自販機など)②両国の協力関係の仕事をする③ゲーム、ダンス、アニメ④面白くて、やさしくて、イケメン



枚方キャンパス留学生別科 (韓国)
朴 秀銀(パク スヨン)さん
①日本のアイドルが好きです②日本語通訳者③音楽をよく聴くとしてドラマを観ること④よろしくお願いたします > <



枚方キャンパス留学生別科 (ポーランド)
UEYAMA YUUKA SONIA (ウエヤマ ユウカ ソニヤ)さん
①日本のまんがとドラマが好きです②キャピテンダント③本を読むことと旅行することがとても好きです④よろしくおねがいします♡

本学への留学生

国際大では、さまざまな国の留学生が学んでいます。卒業後は、国際大で学んだグローバルマインドを糧に、母国と日本の架け橋となって活躍してくれることでしよう。そんな留学生たちの中から7人を紹介します。

- ①日本で今、気に入っているもの、夢中になっているもの、気になっていること
- ②将来の夢や目標
- ③趣味・特技
- ④自己PRやひとこと



小原すみれさん、アジアジュニアトライアスロンで優勝!

人間科学部スポーツ行動学科1年次生の小原すみれさん(写真中央)が、カザフスタン・ブライで開催されたトライアスロンのアジアジュニア選手権で見事優勝しました。過酷な競技でトップの座に輝いた栄誉をたたえ表彰式が行われ、学生、教職員が集まって祝福しました。



グローバルビジネス学部、海外ビジネスパーソン特別講義を開講

5月28日はパナソニック(株)人材開発カンパニーの近藤浩章氏、7月2日には、本学卒業生でP&Gアジア・エンployee・サイト・デリバリー セクション・マネージャーの大橋祐一氏を講師に迎えました。今後も海外で活躍するビジネスマンをお招きする予定です。



大阪国際会議場で入学宣誓式、大学・短大に740人

4月2日、大阪国際会議場メインホールで入学宣誓式が行われました。入学生を代表してグローバルビジネス学部1期生の北島花織さんが「地球を舞台に、世界の平和と人類の幸福について考え、実現できるように力を尽くす」と力強く宣誓しました。



剣道部、近畿大会出場

高校剣道部が第52回近畿高等学校剣道大会女子団体に出場しました。大会は7月12日、13日に神戸市立中央体育館で行われ、結果は残念ながら1回戦で敗退しましたが、次へのステップアップを期待します。



インターハイにフェンシング、女子バレーが出場

南関東総体2014(インターハイ 8/1~20)に、フェンシング部と女子バレーボール部の出場が決まりました。フェンシング部は20回目、バレー部は21回目の出場です。健闘を祈ります!(写真は壮行会の様子)



エッセーコンテスト

—世界に触れて、成長した私—

応募受付中

海外経験のある(したいと思っている)中学生、高校生、大学生(日本に来られている外国人の方も含む)を対象に、エッセーを募集しています。テーマは「世界に触れて感じたこと」「日本を離れて思ったこと」「世界に触れて、成長した(成長したい)私」。メット9月30日。詳しくは大阪国際大学公式サイトをご覧ください。

最新情報は各校公式サイト、Facebook、Twitterで発信中!

- 大阪国際大学 <http://www.oiu.ac.jp>
- 大阪国際大学短期大学部 <http://www.oiu.ac.jp/oic>
- 大阪国際滝井高等学校 <http://www.takii-h.oiu.ed.jp>
- 大阪国際大和田中学校・高等学校 <http://www.owada-h.oiu.ed.jp>
- 大阪国際大和田幼稚園 <http://www.owada-k.oiu.ed.jp>
- 大阪国際学園 <http://www.oiei.jp>

大阪国際学園 検索



江戸川乱歩ミステリー劇上演 奥田メモリアルフェスティバル

「奥田メモリアルフェスティバル」が、例年の秋公演を7月に繰り上げて開催。江戸川乱歩のミステリー劇「幽霊」が上演されました。乱歩が守口在住時に名探偵明智小五郎の初登場作を執筆してから今年で90年。学芸員を目指す学生たちによる「守口と江戸川乱歩」展も同時開催されました。



音楽発表会、学園のお兄さんお姉さんとがんばったよ

6月14日、奥田メモリアルホールで音楽発表会が開催されました。園児たちが歌や合奏を発表した後、今年は大和田中・高吹奏楽部も演奏。また、短大幼児保育学科の学生がボランティアで園児たちをサポートし、学園一体で取り組んだ発表会となりました。

BOOK REVIEW

『3訂 大学学びのことはじめ』グローバルビジネス学部教授 佐藤智明 矢島 彰 同講師 山本明志 編著、同講師 森友令子 村井康真 同准教授 安保克也、名誉教授 松田孝一 共著 ナカニシヤ出版

『サービスマーケティングの理論と実践』グローバルビジネス学部教授 日野隆生 共著 五紘舎

『はじめての政治学』国際コミュニケーション学部講師 佐藤史郎 共著 法律文化社

『国際政治のモラル・アポリア』国際コミュニケーション学部 佐藤史郎 分担執筆 ナカニシヤ出版

『宗教集団の社会学』グローバルビジネス学部教授 三木 英 単著 北海道大学出版会

『Current Issues and Progress in Tibetan Studies: Proceedings of the Third International Seminar of Young Tibetologists, Kobe 2012 (Journal of Research Institute, vol. 51)』グローバルビジネス学部講師 山本明志 共編 Kobe City University of Foreign Studies

国際コミュニケーション学部1年次生 (ロシア) PETROV ALEXANDER (ペトروف アレクサンドル)さん

①経済成長、サービス業、教育 ②日本で就職③旅行、ドライブ、映画④日本に来て4年、日本の文化の違いに驚かされるので、いろんなことを体験したい

国際コミュニケーション学部1年次生 (台湾) 楊鼎國 (ヨウティンゴ)さん

①日本人と知り合いたい、いろんな友達を作りたい②海外の商品を扱う会社を経営したい ③バイク、音楽④日本語がうまく話せるようになりたい!



研究室
探訪

三木英教授研究室



就活のこだわり!?



作者:みうき

(56)

4
1
3

1
9

2
0
1
4

2
0
0



2
0
0
1

独
白

私たちのイノベーション

(i n n o v a t i o n)

1

8

1

E-mail:info@printing-s.jp

TEL.06(6969)8111



koho@oiu.jp

Search bar with a magnifying glass icon and the text '検索' (Search)